

特別付録

Special Calendar 2018

特別
付録!!

2018スペシャルカレンダー付き!!



ES

72

2018 JANUARY

エスフォー
EUROMOTIVE MAGAZINE

刺激的でセンス溢れる
ユーロスタイルを提案します

[TOP ISSUE]

低車高の新流儀

IT'S NEW STYLE of **LOWERING EURO CAR**

AUDI R8 V10 PLUS / BMW M4 / AUDI A6 / MERCEDES-AMG C63S COUPE EDITION 1
MERCEDES-BENZ C250 COUPE / PORSCHE 987 CAYMAN / PORSCHE 911 TURBO



SEMA SHOW 2017

カーモディファイの最新トレンド徹底チェック & 今年も新作パーツがどっさり!

AUDI PRIDE

アウディならではの
ポテンシャルを引き出す方法
RS6 / A6 / TTS / TT

WHEELS IN STYLE

クルマを際立たせる注目すべきホイール

CRAZY ABOUT VW

VWに首ったけ!

WOLF VALENTIN'S POWER
CITY EDITION / TIGUAN

Audi R8 COUPE
V10 PLUS 5.2 FSI QUATTRO



EXCITING EURO

過給機チューンの最前線

AUDI S6 with APR Ultracharger / AUDI A6 with APR Stage3+Ultracharger
AUDI S5 SPORTBACK with APR Stage2+Ultracharger / VW KCC R-VL R with APR Stage3
VW GOLF R with REVOLTECHN Stage3

B9系アウディ
モディファイのパーツ事情

アウディブランド

AUDI PRIDE

現行型のアウディは、黙ってただずんでいるだけで十分に美しい。だが、その美しさに満足せず、さらなる高みを目指すことを人は「モディファイ」と呼ぶ！RS6を皮切りにA6アバント、8S/TTと続くモディファイの極みをここにアップロードする。

「アバント、いいね！」と、思わず納得してしまうほどのプロポーション。ホイールサイズ、ボディ、そしてベース車のフォルムと、すべてのバランスが最高に調和されている。



カーボンセラミックブレーキとアルミ製リアブレーキディスク。20インチのインパクトは言うまでもなく、ジェントルなクランクとの調和がキャッチされる。

AUDI RS6 AVANT

SPECIFICATIONS AUDI RS6 AVANT

WHEEL ADV1 99 ADV5.3・M・V2・CS 21x21x110 Fresh-Brushed Titanium Clear Coat TIRE MICHELIN 99 Pilot Sport 4S 21x21x110

SUSPENSION KW 99 3-Point Adaptive Control EXHAUST AKRAPOVIC 99 Exhaust Cut ENGINE 99 6.0L V8 400hp 400km/h

DALY 99 EC SPEC (イギリス仕様) 405-1414 www.ec-spec.jp
PHOTO >>> MASAMI NAITO (編集者) TEXT >>> YOSUKE TAKAHASHI (編集者)



大人だからこそこだわる—

完璧なマッチングを見せるブラッシュドチタンの精緻な輝き

先代までラインナップされていた4ドアセグメントのディグアを消し、現行ではアバントのみの設定となったRS6。V10からV8と、単純にシリンダー数だけを見ればダウンサイジングという印象もあるが、560psのMAXパワーと70kg-mを超える最大トルクがもたらす走りの過激さは健在。まさに「世界最速のワゴン」と呼ぶに相応しい卓越した動力性能を秘めている。

そんなアウディ自慢のネットモデルをベースに、オトナのスポーツマインドを存分に表現したのが種

同の名ビルダー、ECスペック。足元に投入されたのはUSフォージドの名門ブランド、ADV.1の最新モデル、ADV5.3・M・V2・CS21インチ。セパレートタイプのスポークは肉厚が限界まで削り落とされ、なおかつフランジとの結合部手前まで鋭いツメのような三角形のプレートと合体。ブラッシュドチタン/マットクリアというシックなカラーリングをセレクトもちろん、ワンオフオーダーしているため、一見しただけではトランプにさえ思えるかも知れないが、スポークサイドのマシニングや複雑に交

錯したエンド部分など、デザインはカケ値ナシにアバントに劣らぬ。

この前後11.0というワイドリムをよりスタイリッシュに履きこなすべく、サスペンションはKWに変更されているほか、インナーフェンダーも若干加工。ただでさえパワフルな走りさらに磨きをかけるべく、マフラーはアクラポヴィッチのチタンを装着し、mochip-dkrのコンピューターも採用するなど、シンプルに徹した仕上がりの中にも本物志向のこだわりが凝縮されている。